

知ってクレ!

呉市の小中一貫教育

令和5年度
令和6月3月6日発行
呉市教育委員会学校教育課
小中一貫教育指導グループ



乗り入れ授業，異学年交流で

資質・能力の育成

中1ギャップの解消

自尊感情の向上

発達段階に応じて，
“9年間”を見通した教育を!

後期

(中2，中3)

中期

(小5～中1)

前期

(小1～小4)



呉市では、各校の小中一貫教育推進コーディネーターが中学校区をつなぐ「キーパーソン」として、成長の扉を開く「ドアパーソン」として、各中学校区の取組を企画・運営・調整する、重要な役割を果たしています。小中一貫教育推進コーディネーター研修会(年2回)を踏まえ、子どもたちの課題や地域の实情に即して改善を図った、中学校区の特色ある取組を紹介します。

両城中学校区

生徒会執行部による 小学校への防災授業

自分事として
防災意識を高める取組にしたい!

授業の立案，事前準備，実際の授業まで，生徒発信で進めさせ，主体的な学びとなるよう工夫しました。

“自分の命は自分で守る”を合い言葉に，地震を想定したワークショップ型の授業を実施。緊迫する状況の中，どのように自分や家族の命を守っていくのか，災害時の行動を具体的に考え交流しました。身近な先輩が分かりやすく説明する姿に，真剣に耳を傾ける小学生。考えを深める小学生の姿から，中学生の達成感や，地域貢献の意識へとつながっています。



【担当指導主事より】

教師はファシリテートに徹することで，児童生徒主体の取組となっています。このような実際の場面を想定した実践的な取組により，子どもたちの防災意識が高まる取組へと深化しています。



和庄中学校区

専門性を生かした乗り入れ授業で 体力の向上

学校行事を関連付けた指導で
子どもに学びの連続性をもたせたい!

運動が好きな子どもを増やし，体力の向上を図ることを目的に，中学校の教員が小学校に出向き，週1時間の体育科の乗り入れ授業を行っています。

事前の打合せにより，授業のねらいと児童の実態に応じて，小中の教員の役割分担を明確化。中学校の教員が，運動への苦手意識をもつ児童や，運動技能の向上を目指す児童それぞれに合った個別指導を継続して行うことで，運動の楽しさを実感させ，中学校の授業への期待感につなげています。



←呉市陸上記録会に向けて中学生による実技指導も
行っています。

部活で実践している技を小学生にも
分かりやすく伝えたい!

【担当指導主事より】

中学校教員の専門性を生かした指導で，資質・能力の育成へ。学びの連続性を意識した取組により，技能の習得や中1ギャップの解消にもつながっています。



<どなたでも>

呉市学校教育課 HP に
掲載しています。



<呉市の先生>

ロイロノートスクールの資料箱に保存しています。

【先生のみ】→【教育委員会】→【小中一貫教育だより】
(広島県呉市)